

# 令和 8 年度における 職業訓練実施計画の策定方針について

- 1 令和 8 年度 全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）
- 2 令和 8 年度 愛知県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 【 参 考 】

- ・ 令和7年度計画の実施方針における訓練分野の実施状況
- ・ 委託訓練及び求職者支援訓練の応募倍率及び就職率の状況

# 令和8年度全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 令和7年度計画の実施方針と取組状況

### 令和7年度実施計画（実施方針）

課題	実施方針
①応募倍率が低く、就職率が高い分野がある。 「介護・医療・福祉分野」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練見学会等への参加に係る積極的な働きかけ。</li> <li>・訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化。</li> <li>・特に委託訓練については、開講時期の柔軟化、受講申込み締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報の実施。</li> </ul>
②応募倍率が高く、就職率が低い分野がある。 「IT分野」 「デザイン分野」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人ニーズに即した訓練内容かどうかの検討。</li> <li>・ハローワーク窓口職員の知識の向上。</li> <li>・事前説明会や見学会の機会確保。</li> <li>・訓練修了者歓迎求人等の確保。</li> <li>・事業主等に対して、習得することができるスキル等の訓練効果を広く周知。</li> </ul>
③委託訓練の計画数と実績が乖離している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講時期の柔軟化。</li> <li>・受講申込み締切日から受講開始日までの期間の短縮。</li> <li>・効果的な周知広報の実施。</li> <li>・訓練関連職種の魅力や働きがい、就職した場合の処遇といった観点も踏まえた受講あっせんの強化。</li> </ul>
④デジタル人材が質・量とも不足、都市圏偏在がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル分野への重点化。</li> <li>・一層のコース設定促進。</li> </ul>

### 令和7年度取組状況

委託訓練について、都道府県に対し、開講時期の柔軟化や受講選考期間の短縮、各種SNS等による効果的な周知広報等について配慮を依頼（③への対応含む）。
地域協議会の公的職業訓練効果検証ワーキンググループによる効果検証結果を全国に情報共有。
ハローワークにおいて、デジタル分野の適切な受講あっせん等に向け、訓練窓口職員の知識の向上、訓練実施施設による事前説明会・見学会の機会確保等を推進。
訓練部門と求人部門との情報共有による求人開拓、求人充足会議等の活用を通じて、事業主等に対して、訓練受講により習得できるスキル等の訓練効果を周知。
職場情報サイト（jobtag）を活用し、訓練に関する職業の詳細な内容や訓練に関連する求められるスキルのほか、賃金・労働時間のデータ等を踏まえた受講あっせん機能の促進。
デジタル分野の訓練コースの委託費等の上乗せ等により、職業訓練の設定を促進。
委託訓練及び求職者支援訓練について、訓練分野の特性を踏まえたデジタルリテラシーの向上促進。

# 令和 8 年度全国職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 令和 7 年度計画に挙げた課題と令和 6 年度の実施状況

**応募倍率が低く、  
就職率が高い分野**

介護・医療・  
福祉分野

【委託訓練】  
応募倍率が低下し66.3%。就職率は低下。  
【求職者支援訓練】  
応募倍率は向上し73.6%。就職率は低下。

**応募倍率が高く、  
就職率が低い分野**

IT分野・  
デザイン分野

【委託訓練】  
・IT分野：応募倍率は低下、就職率は向上。  
・デザイン分野：応募倍率は低下、就職率は向上。  
【求職者支援訓練】  
・IT分野：応募倍率が低下、就職率は向上。  
・デザイン分野：応募倍率が上昇、就職率は向上。

**委託訓練の計画数と実績に乖離あり。**  
令和 6 年度も同様の傾向。

**デジタル人材が質・量とも不足、都市圏偏在が課題。**

**非正規雇用労働者等が働きながら学びやすいオンラインを  
活用した職業訓練の試行実施**（令和 6 年度～）

## 評価・分析

応募倍率  
両訓練ともに約70%であり、応募倍率の上昇に向け、引き続き**改善の余地**がある。【A】

就職率  
依然、**高水準**で推移。

応募倍率  
求職者支援訓練におけるデザイン分野を除き、その他の分野では低下しており、引き続き**解消傾向**。

就職率  
特にデザイン分野における委託訓練や求職者支援訓練の就職率はそれぞれ68.9%、57.3%であり、就職率の向上に向け、引き続き**改善の余地**がある。【B】  
【C】 【D】

## 令和 8 年度の公的職業訓練の実施方針（案）

A 引き続き、介護分野等の理解促進のため、職場見学会等への参加を積極的に勧奨するとともに、訓練の内容や効果を踏まえた**受講勧奨の強化**を行う。

また、委託訓練についてはFの措置も併せて実施。

B 本人の受講希望だけでなく、本人の職業能力や求職条件等を踏まえた適切な職業相談、訓練のあっせんを行う。また、ミスマッチ低減のため、引き続き、事前説明会・見学会の機会確保を図る。さらに、訓練窓口職員のITリテラシーの更なる向上を図る。

C 訓練修了者のスキルが活用できる求人等の確保を推進する。

D eラーニング等の**オンラインを活用した訓練**を受講する求職者への適切な情報提供、意識付けとともに、**就職支援の充実**を図る。

E 受講者数の実績等を踏まえ、必要な訓練規模を確保しつつ、計画数の見直しを図る。

F 引き続き、開講時期の柔軟化、受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等、**受講者数増加に向けた取組**が必要。

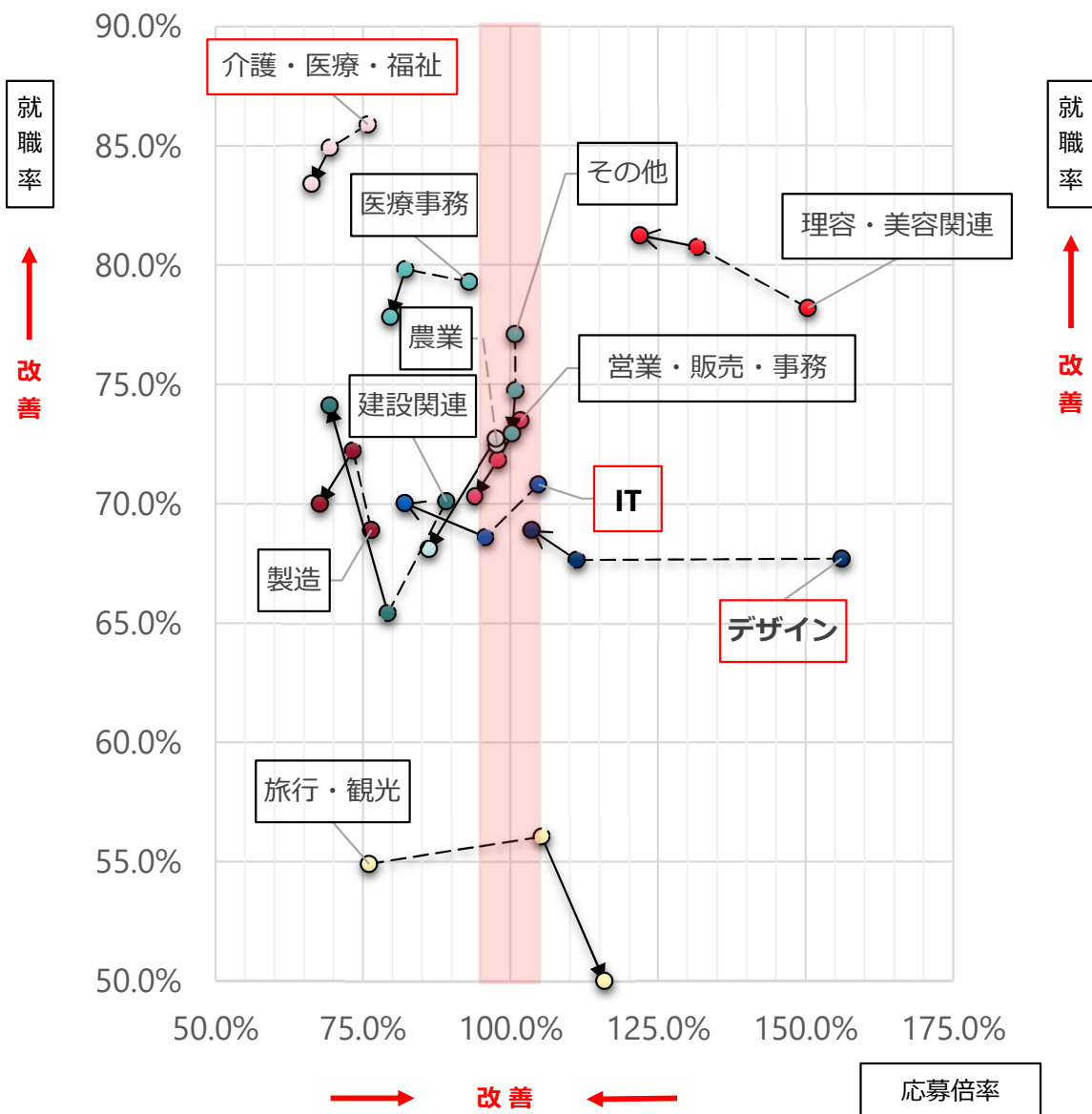
G 引き続き、**デジタル分野への重点化**を進め、**一層の設定促進**が必要。

H 都道府県・JEEDによる**公共職業訓練（委託訓練）**として本格実施。

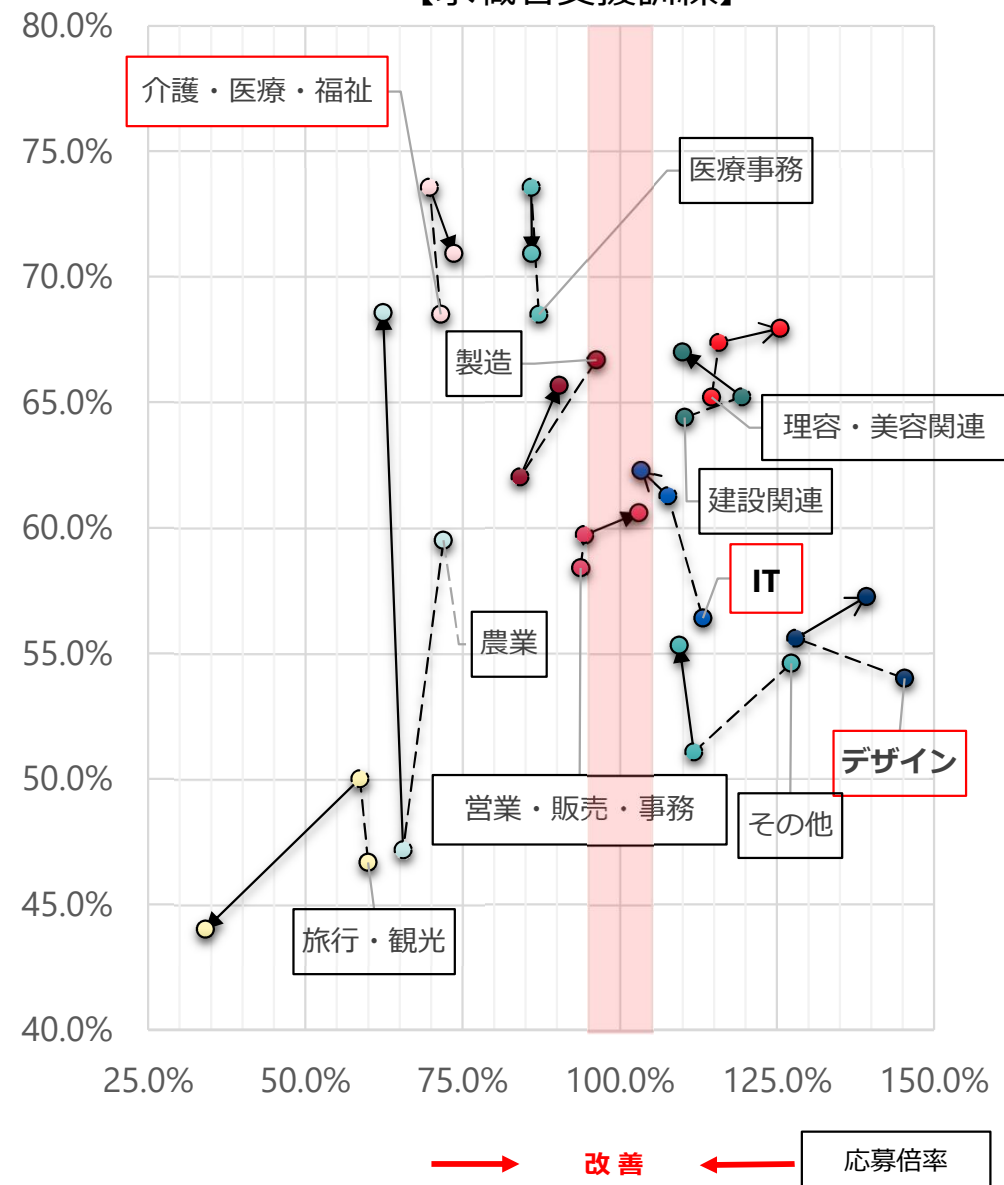
# 【参考】委託訓練及び求職者支援訓練の応募倍率及び就職率の状況

令和4年度 - - - 令和5年度 → 令和6年度

【委託訓練】



【求職者支援訓練】



※用語の定義は、資料2-1と同様。



# 令和 8 年度愛知県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 令和 7 年度計画の実施方針と取組状況・令和 8 年度実施方針（案）

課題	実施方針	7 年度取組状況	7 年度後半の取組	8 年度実施方針
<b>(1)「デジタル分野」</b> (IT分野・デザイン分野)  《課題》 ・受講機会の確保 ・受講者の確保 ・就職支援 (就職率の向上)	① デジタル分野の拡充	・愛知県・JEEDにおいて、デジタル分野の訓練コースの拡充に取り組み、令和 7 年 9 月末現在、全体定員の31.4%をデジタル分野が占めている。(前年度同時期29.9%)	・引き続き、デジタル分野の訓練コースが全体定員の 3 割を超えるよう取り組む。	・左記の 7 年度の取組を継続することとし、7 年度後半の実績を踏まえた実施方針を策定する。
	② 企業ニーズに即した訓練カリキュラムの設定	・企業のデジタル人材ニーズを把握した調査結果を一覧にした「デジタルスキル表」を作成。これを愛知県・JEEDと共有し、訓練実施機関におけるカリキュラム設定の活用を依頼。	・引き続き「デジタルスキル表」を活用し、企業ニーズに即したカリキュラムの設定がされるよう訓練実施機関に促す。 ・企業ニーズに即した訓練カリキュラムの設定を促進する方策を検討する。	
	③ 適確な受講あっせん	・ハローワークにおいて、「デジタルスキル表」を活用した職業相談等（訓練コース選定の助言、キャリアコンサルティング等）を実施。	・引き続き左記の取組を行う。	
	④ 訓練受講者の意識喚起	・訓練受講者に「デジタルスキル表」により企業が求める人材ニーズを伝え、スキル習得の動機付けの強化を図る。	・引き続き左記の取組を行う。	
	⑤ 「DX推進求人」の確保・訓練受講者への提供	・「DX推進求人」（あらゆる職種において、その業務にデジタルの知見を活用できる求人）の周知広報を行い、企業の求人登録を促す。 ・「デジタルスキル表」を活用し、「DX推進求人」（企業が求める人材ニーズ）の内容を把握を効率的に行い、求人確保を推進する。	・「DX推進求人」の把握・確保に取り組み、その求人情報を取りまとめ、訓練受講者を始めとする求職者への情報提供に取り組む。	
	⑥ デジタルリテラシーの習得可能なカリキュラムの設定	・公共職業訓練（委託訓練）及び求職者支援訓練について、デジタルリテラシーを含むカリキュラムを設定。	・引き続き左記の取組を行う。	

# 令和 8 年度愛知県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

## 令和 7 年度計画の実施方針と取組状況・令和 8 年度実施方針（案）

課題	実施方針	7 年度取組状況	7 年度後半の取組	8 年度実施方針
<b>(2)「製造分野」 「建設関連分野」 「介護・福祉・医療分野」</b> 《課題》 ・就職率は高いものの、応募倍率及び定員充足率が低調	<b>① 訓練制度の周知・広報</b>  <b>② 効果検証ワーキンググループでの検証・分析</b>	・訓練情報一覧（「ハロトレNews」等）の配付、ホームページ等による周知・広報。 ・ハローワークにおける訓練説明会等の開催。 ・学習支援事業等を行う自治体を通じた訓練情報の提供。  ・「製造分野」「建設関連分野」については、効果検証ワーキンググループにて定員充足に向けた課題、今後の取組等について検証・分析を実施。	・引き続き左記に取り組むとともに、取組内容を充実していく。  ・効果検証結果を踏まえ、7年度に取り組む可能なものは早期に着手する。	・7 年度における周知・広報の取組を継続するとともに、効果検証ワーキンググループでの検証結果を踏まえた実施方針を策定する。
<b>(3)就職率の向上のための取組</b>	<b>①ハローワーク訓練窓口職員の知識向上、事前説明会、見学会の機会確保</b>  <b>②訓練修了者の就職機会の拡大</b>	・ハローワーク職員と愛知県・JEEDとの担当国会議、施設内訓練の見学会等（体験会含む）を実施し、知識向上等に取り組む。 ・労働局において、ハローワーク職員の知識向上、斉一的な業務取扱、効果的な就職支援を図るために訓練担当国会議を開催。  ・企業に対し、訓練修了者の採用や「訓練修了者歓迎求人」の登録を依頼するリーフレットを毎月作成・配付し、求人確保に取り組む。 ・訓練修了者歓迎求人職を職種別にまとめ『ハロトレ求人情報』（冊子）としてハローワークや訓練施設に配付し、受講者へ情報提供。 ・デジタル知見を活用できる求人を「DX推進求人」として周知し、登録促進を図るとともに、「デジタルスキル表」を用いて求人内容の把握を進めている。	・引き続き左記の訓練実施施設の見学等の取組を行う。  ・訓練修了者歓迎求人確保については、左記の取組を継続する。 ・「DX推進求人」についても「ハロトレ求人情報」（冊子）に取りまとめ、ハローワーク及び訓練実施施設を通じて訓練受講者に情報提供していく。	・7 年度計画に引き続き策定する。
<b>(4)効果的なキャリアコンサルティングの実施</b>	<b>①訓練受講者が望むキャリアコンサルティングの実施</b>	・すべての訓練実施機関において以下の取組を実施。 ・キャリアコンサルティングの実施前に目的及び実施効果等の事前説明。 ・訓練期間中、同一のキャリアコンサルタントによるコンサルティングの実施。	・引き続き左記の取組を行う。	・7 年度計画に引き続き策定する。

# 令和6年度公的職業訓練実施状況（実績）を踏まえた今後の方向性

## 令和6年度公的職業訓練実施状況（実績）を踏まえた今後の方向性

※ 令和6年度公的職業訓練（求職者支援訓練・基礎コース除く）の実績により試算したもの

分野 番号	訓練分野（希望職種）	①求職者の訓練 ニーズ（試算）	コース数	②定員 （開講訓練定員）	③求職者の訓練ニ ーズと定員比 （定員カバー率）	④受講申込者数	⑤応募倍率	⑥受講者数	⑦定員充足率	⑧就職率 （R6年度）
1	I T 分野	2,053	81	1,250	60.9%	1,029	82.3%	760	60.8%	72.5%
2	営業・販売・事務分野	31,493	134	2,133	6.8%	2,122	99.5%	1,442	67.6%	73.6%
3	医療事務分野	1,291	27	426	33.0%	414	97.2%	310	72.8%	87.3%
4	介護・医療・福祉分野	10,831	82	831	7.7%	702	84.5%	533	64.1%	78.1%
5	農業分野	566	3	90	15.9%	104	115.6%	86	95.6%	90.6%
6	旅行・観光分野	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	デザイン分野	1,463	55	979	66.9%	1,474	150.6%	868	88.7%	76.1%
8	製造分野	10,568	36	613	5.8%	628	102.4%	464	75.7%	87.8%
9	建設関連分野	1,815	14	328	18.1%	285	86.9%	219	66.8%	87.1%
10	理容・美容関連分野	555	10	134	24.1%	203	151.5%	104	77.6%	60.0%
11	その他分野	21,434	37	393	1.8%	409	104.1%	275	70.0%	76.9%

①は令和7年度「職業訓練に関するアンケート調査票」回答のあった1347件を希望職種（訓練分野）ごとに振り分け、それぞれ訓練希望者が占める割合を算出し、それを令和6年度新規求職者数に乘じた数。

求職者数又は求人数が多い分野であり、人材育成、企業とのマッチングにあたって、公的職業訓練の設定等の検証・分析をする必要があると判断した分野

訓練分野	令和6年度実績と訓練ニーズの分析・今後の方向性
I T 分野 (デジタル分野)	求職者の訓練ニーズ（試算）の半数を超える（60.9%）の定員設定。応募倍率は1倍を下回り82.3%、定員充足率60.8%、就職率72.5%ともに低調。 ⇒応募倍率、定員充足率の向上に向けた訓練の誘導と就職率の向上が課題。（5年度効果検証WGで検証し、6年度実施方針反映済） <b>7年度実施方針を踏まえ、8年度も引き続き課題解消に取り組む。</b>
営業・販売・事務分野	求職者の訓練ニーズ（試算）は最も高く、潜在的な訓練希望者は多い。応募倍率は99.5%となり概ね適正值。就職率は73.6%と低調。 ⇒応募倍率は適正值であり、就職率の向上の取組継続。（5年度効果検証WGで検証し、6年度実施方針反映済）
介護・医療・福祉分野	求職者の訓練ニーズ（試算）は高く、潜在的な訓練希望者は多い。しかしながら、応募倍率84.5%、定員充足率64.1%と低調。 ⇒潜在的な訓練ニーズが定員充足につながらない要因を分析する必要がある。 <b>7年度実施方針において、訓練の周知・広報に取り組む重点分野</b> としている。 <b>8年度はこれに加えて、効果検証WGにて検証・分析することを検討。</b>
デザイン分野 (デジタル分野)	求職者の訓練ニーズ（試算）の約7割（66.9%）の定員設定。応募倍率150.6%、定員充足率88.7%ともに高い。就職率は76.1%に上昇。 ⇒就職率の向上及び訓練関連分野への就職が課題。（6年度効果検証WGで検証し、7年度実施方針反映済） <b>7年度実施方針を踏まえ、8年度も引き続き課題解消に取り組む。</b>
製造分野	求職者の訓練ニーズ（試算）は多く、潜在的な訓練希望者は一定数いると思われる。応募倍率102.4%、定員充足率75.7%、特に施設内訓練の金属加工系の訓練の定員充足率が低調。 ⇒ <b>7年度効果検証WGの検証結果について、8年度実施方針に反映し、課題解消に取り組む。</b>
建設関連分野	求職者の訓練ニーズ（試算）はあり、潜在的な訓練希望者は一定数いると思われる。応募倍率86.9%、定員充足率66.8%と低調。特に施設内訓練（県）の定員充足率が低調。 ⇒ <b>7年度効果検証WGの検証結果について、8年度実施方針に反映し、課題解消に取り組む。</b>

# 【参考】令和7年度計画の実施方針における訓練分野の実施状況【愛知労働局】

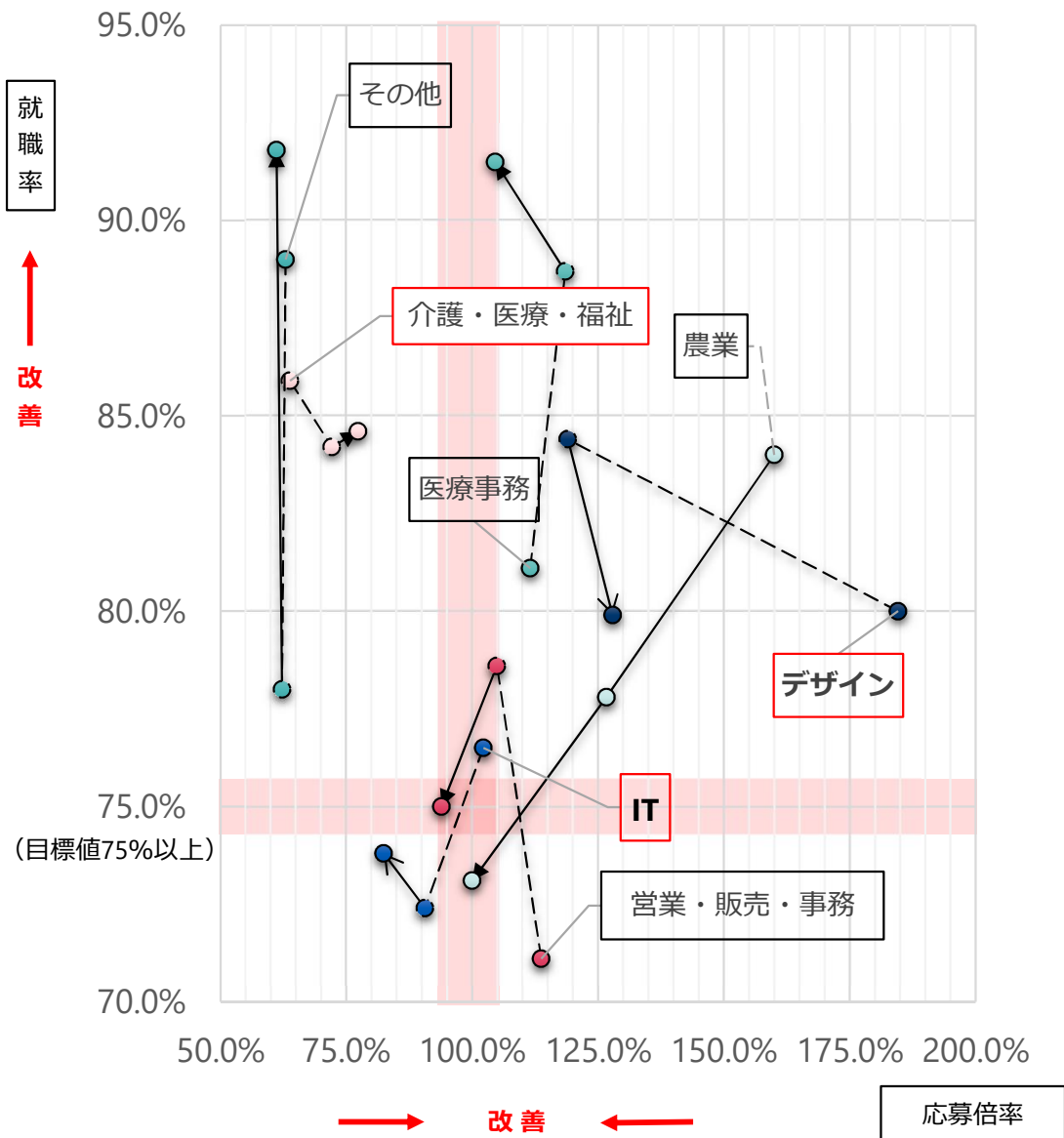
	デジタル分野	製造分野	建設関連分野	介護・医療・福祉分野
6 年度実績	<p>《委託訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 95.6% (▲5.2)</li> <li>・就職率 76.1% (▲0.7)</li> <li>＊応募倍率やや低下したが概ね1倍水準。就職率は同水準。</li> </ul>	<p>(愛知県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 80.7% (▲3.4)</li> <li>・定員充足率59.6% (▲4.5)</li> <li>・就職率 76.5% (▲4.4)</li> <li>＊全体数値やや低下、低調な状態。</li> </ul>	<p>(愛知県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 60.0% (▲12.2)</li> <li>・定員充足率45.6% (▲11.1)</li> <li>・就職率 71.6% (▲17.1)</li> <li>＊全体数値低下。低調な状態。</li> </ul>	<p>《委託訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 77.3% (+5.2)</li> <li>・定員充足率 59.1% (+5.2)</li> <li>・就職率 84.6% (+0.4)</li> <li>＊応募倍率、充足率上昇したが、低調な状態。就職率は高水準。</li> </ul>
	<p>《求職者支援訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 156.7%(▲6.9%)</li> <li>・就職率 68.9% (+9.1%)</li> <li>＊応募倍率低下したが、依然として高倍率。就職率は改善。</li> </ul>	<p>(JEED)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 118.6% (▲3.7)</li> <li>・定員充足率 88.3% (+0.4)</li> <li>・就職率 93.7% (+6.8)</li> <li>＊応募倍率やや低下するも1倍を上回る水準。就職率は高水準。</li> </ul>	<p>(JEED)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 119.6% (+8.8)</li> <li>・定員充足率 92.6% (+2.7)</li> <li>・就職率 96.1% (+3.0)</li> <li>＊応募倍率上昇、充足率、就職率ともに高水準。</li> </ul>	<p>《求職者支援訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 102.1% (▲11.5)</li> <li>・定員充足率 76.7% (▲6.3)</li> <li>・就職率 60.0% (▲0.4)</li> <li>＊応募倍率は低下したが1倍台を維持。就職率は低調</li> </ul>
【参考】 7 年度 (7年9月末)	<p>《委託訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 102.8% (▲1.0)</li> <li>＊前年度同水準。</li> </ul>	<p>(愛知県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 106.7% (+8.3)</li> <li>・定員充足率 68.3% (▲2.2)</li> <li>＊応募倍率は上昇したが、定員充足率は同水準。</li> </ul>	<p>(愛知県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 80.0% (+30.0)</li> <li>・定員充足率58.9% (+20.0)</li> <li>＊応募倍率は大幅に上昇したが、1倍に達していない。定員充足率も大幅に上昇したが、6割弱と低調。</li> </ul>	<p>《委託訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 76.5% (▲4.8)</li> <li>・定員充足率 63.2% (+2.5)</li> <li>＊応募倍率やや低下、定員充足率上昇するも6割水準。</li> </ul>
	<p>《求職者支援訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 133.9%(▲43.7%)</li> <li>＊高応募倍率解消傾向。</li> </ul>	<p>(JEED)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 131.4% (+9.7)</li> <li>・定員充足率 91.2% (▲2.7)</li> <li>＊応募倍率上昇、定員充足率は9割超えを維持。</li> </ul>	<p>(JEED)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 139.2% (+10.8)</li> <li>・定員充足率 86.5% (▲8.1)</li> <li>＊応募倍率上昇、定員充足率低下したが8割後半の水準。</li> </ul>	<p>《求職者支援訓練》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募倍率 93.1% (▲19.7)</li> <li>・定員充足率 70.8% (▲10.8)</li> <li>＊応募倍率大幅に低下し、1倍を下回る水準。定員充足率も低下し、7割水準。</li> </ul>



# 【参考】 委託訓練及び求職者支援訓練の応募倍率及び就職率の状況【愛知労働局】

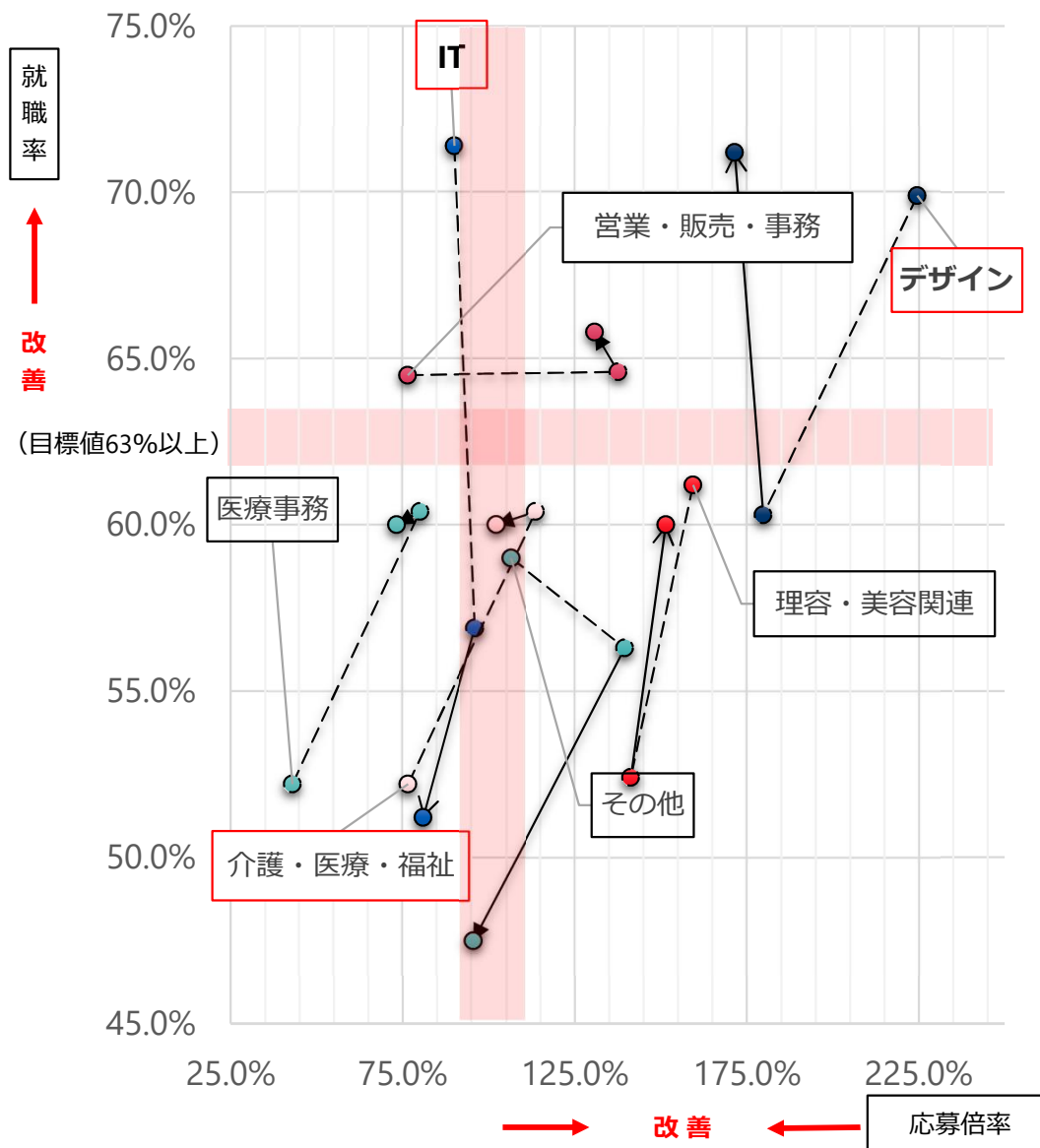
令和4年度 - - - 令和5年度 → 令和6年度

【委託訓練】



※用語の定義は、資料2-1と同様。

【求職者支援訓練】



※製造の分野の訓練1コースが令和6年度中に開校したが、年度内に中止（応募倍率155.6%）